

福祉科 「介護過程」	単位数	2単位
	学科・学年	教養福祉科（2年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	「人間と理解」・「こころとからだのしくみ」・「介護」の領域で学んだ専門的な知識と技術を統合し、介護サービス利用者の尊厳と自立生活支援の観点から介護過程が展開できる能力と態度を身に付ける。
使用教科書 副教材	介護過程（実教出版） 最新介護福祉士養成講座9「介護過程」（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<p>関心・意欲・態度 介護過程に関心を持ち、展開のプロセスを意欲的に理解しようとする態度を身に付けている。</p> <p>思考・判断・表現 介護過程について考え、利用者のニーズを理解し、介護従事者として必要な視点とチームアプローチについて理解できる。</p> <p>技能 介護過程に必要な情報を収集し、作成した介護過程を展開し発表できる。</p> <p>知識・理解 介護過程に関する基本的知識を身に付け、「アセスメント」・「計画の立案」・「実施」・「評価」の4つの意義と過程を理解している。</p>
評価方法	評価の観点にしたがい、学習プリントの記入・ペーパーテスト・介護過程の展開の発表により総合的に評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	介護過程に関する基本的知識を身に付け、「アセスメント」・「計画の立案」・「実施」・「評価」の4つの意義と過程を理解する。現場実習で出会った事例を整理して、本校様式のアセスメント表に書き表し利用者のニーズを把握する。具体的事例に基づき演習を行う。
---------------	--

(4) 学習計画
「1学期」

項 目	学 習 の ね ら い
第1章 介護過程の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護過程の概要を知り、課題に対する原因の見つけ方を理解する。 ・ 介護過程にはどのような段階があって、それぞれどのような関連があるか理解する。
第2章 介護過程におけるニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護実践では介護過程がどのような意義をもつか理解する。 ・ 介護福祉士の仕事の特徴について理解する。 ・ 要望とニーズの違いを理解する。

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
第3章 介護過程におけるアセスメント 第4章 介護計画 〈演習〉	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い情報の集め方と集めるときの視点を学ぶ。 ・集めた情報を判断して、ニーズ（課題）を整理することを理解する。 ・ニーズ（課題）の優先順位のつけ方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護計画と介護支援専門員が作成するケアプランの関係を理解する。 ・介護計画に含む内容にはどのようなものがあるか理解する。 ・介護計画の例をみながら、実際の介護計画の書き方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護実習Ⅰで実施したアセスメントをもとに、介護計画を立てる。

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
第5章 介護計画の実施と記録 第6章 介護過程の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画を実施するときの注意点を理解する。 ・介護記録の記録法を学習し、実際に書いてみる。 ・介護記録の意味と情報の扱い方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程における評価の時期、基準を理解する。 ・介護目標が達成された場合と達成されなかった場合における評価を理解する。 ・評価記録の書き方の例を参考にして理解する。

福祉科 「介護過程」	単位数	2単位
	学科・学年	教養福祉科（3年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	「介護」の専門的な知識と技術を根拠とした、客観的で科学的な思考過程による介護過程を展開できる。また目の前にいる福祉サービス利用者の尊厳と自立生活支援の観点から介護過程を展開できる能力と態度を身に付ける。
使用教科書 副教材	「介護過程」（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座9「介護過程」（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<p>関心・意欲・態度 介護過程に関心を持ち、展開のプロセスを意欲的に理解しようとする態度を身に付けている。</p> <p>思考・判断・表現 介護過程について考え、利用者のニーズを理解し、介護従事者として必要な視点とチームアプローチについて理解できる。</p> <p>技能 介護過程に必要な情報を収集し、作成した介護過程を展開し発表できる。</p> <p>知識・理解 介護過程に関する基本的知識を身に付け、「アセスメント」・「計画の立案」・「実施」・「評価」の4つの意義と過程を理解している。</p>
評価方法	評価の観点にしたがい、学習プリントの記入・ペーパーテスト・介護過程の展開の発表により総合的に評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	介護過程に関する基本的知識を身に付け、「アセスメント」・「計画の立案」・「実施」・「評価」の4つの意義と過程を理解する。現場実習で出会った事例を整理して、本校様式のアセスメント表に書き表し利用者のニーズを把握する。さらに事例を用いた演習により介護過程を展開する方法を具体的に学ぶ。
-------------------	--

(4) 学習計画

「1学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護過程の意義・目的 ・その理解 (介護過程：介護実 習事前学習) (介護過程：介護実 習事後学習) (介護過程：介護実 習事後学習) 【演 習】	・介護過程に関する基本的知識である、「アセスメント」・「計 画の立案」・「実施」・「評価」の4つの意義と目的の確認をし 介 護過程の全体像を理解する。 ・介護を提供するための「アセスメント」の必要性を理解する。 ・介護を提供するための「個別援助計画」の必要性を理解する。 ・「個別援助計画」の立案方法について理解する。 ・実施の際の留意点について理解する。 ・介護過程における評価の重要性理解する。 ≪現場実習の実践した事例の介護過程を理解する≫ ・介護過程の全体像を把握する。 ・介護過程の意義・目的について理解する。 ・アセスメントの実際を理解し課題を明確化する。 ・情報の解釈、関連づけ、統合化を理解する。 ・生活支援の考え方と介護過程の必要性を理解する。 ・展開の基本視点について学びそのプロセスを理解する。 ・計画の立案、実施、評価を理解する。 ・演習によりケアマネジメントの展開を理解する。 ①アセスメントシート・個別援助計画表の記載方法を学び、 そこより得られる情報を理解する。 ②アセスメント分析方法と、目標に導く記録の記載法を学び その思考過程を理解する。 ③介護計画の立案、実施、評価の方法を学ぶ ④グループワーク、発表、評価を実施。実施後の記録の意義 と留意点について理解する。

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
利用者の特性に応じた 介護過程の実践的 展開 事例研究 介護過程の評価	現場実習の利用者を事例として介護過程を展開する ・介護過程の実践的展開 ・「アセスメント」の実際 事例の展開より理解する ・「介護過程」展開の実際 事例の展開より理解する ・長期、短期目標を立てる。 ・グループごとに発表する。 ・全員で評価し、まとめる。 ・評価の時期、評価基準、評価方法を理解する。

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護過程とチームアプ ローチ	・ケアプランと個別援助計画の関係について理解する。 ・チームアプローチの実際を理解する。 ・グループごとに話し合い、①何を観察し、②どのような職種 に、③どのような情報を、④何のために提供する必要があるか を考える。